

ふるさと 四日市を 全国へPR

～四日市市観光大使～

今回は、ふるさと四日市を全国へPRする

四日市市観光大使について特集します。

観光大使は、桂福團治さん、瀬木直貴さん、
加藤歩さん、Ms.OOJAさん、川村昌弘さんの5人です。

特集では、桂さん、瀬木さん、加藤さんと

市長との座談会、ならびにスケジュールの都合で

座談会にご出席いただけなかった

Ms.OOJAさんと川村さんへの単独インタビューを通して、

ふるさと四日市に対する思いや今後の観光大使としての

意気込みを伺いました。



写真提供:
三重テレビ

桂 福團治さん



瀬木 直貴さん



加藤 歩さん



「みんなが誇りを持てるまち四日市」を目指し 観光面から四日市のイメージチェンジを

市は、総合計画において「みんなが誇りを持てるまち四日市」を目指すべき都市像として位置付け、さまざまな施策を行っています。ものづくりを中心とする産業都市四日市が、その都市像を実現するためには、産業活力以外に、独自の魅力あるまちづくりを進める必要があります。

そこで、市は平成23年を「四日市の観光元年」、平成24年を「四日市の文化力元年」と宣言しました。以来、コンビナート夜景をはじめ、四日市の地域資源を生かしつつ、観光や文化の視点で新しい魅力を創造、発信することによって、都市イメージの転換を図る取り組みを進めてきました。

近鉄四日市駅1階に開設されている観光案内所「お休み処 四十三茶屋」。訪れた観光客をおもてなしします。もちろん、市民の皆さんもご利用いただけます。

市議会が 「四日市市観光大使設置条例」を発議

市議会からは、市民はもとより、全国への魅力の発信力を高める必要性から、「四日市市観光大使設置条例」が発議され、昨年9月20日に制定されました。

そこで、四日市出身の著名な人たちに、「四日市市観光大使」として市の観光PRやシティセールスにご協力いただくこととなりました。

各界で活躍する5人を選任

〈四日市市観光大使〉(年齢順)

- 桂福團治さん(落語家)
- 瀬木直貴さん(映画監督)
- 加藤歩さん(お笑い芸人「コンビ名:ザブングル」)
- Ms.OOJAさん(シンガーソングライター)
- 川村昌弘さん(プロゴルファー)

〈活動内容、任期〉

既に、ご自身のブログや観光大使の名刺などを使って、四日市のPRに取り組んでいただいています。今後も、雑誌インタビューや舞台、コンサートなどの各活動分野で、四日市の魅力を広く発信していただきます。任期は平成25年1月1日から3年間です。(再任あり)

名刺



Ms.OOJAさん



川村 昌弘さん



左から瀬木さん、田中市長、桂さん、加藤さん

観光大使には選任状が授与され、それぞれにPR用の名刺や観光資料などが渡されました



Ms.OOJAさん



川村さん



観光大使 座談会

観光大使の選任に当たり、3人の大使と市長の座談会が開かれました。(写真左から桂さん、田中市長、瀬木さん、加藤さん)



桂 福團治

1940(昭和15)年生まれ

落語家

関西演芸協会第10代会長、上方落語協会理事。日本手話落語会会長。手話落語の元祖。毎年、文化会館で高座が催されている。



瀬木 直貴

1963(昭和38)年生まれ

映画監督

TV・CFディレクター/人権・教育・環境に関する講演/エッセイ・コラム執筆/各地のまちづくりアドバイザーなどを務める。

ブログ <http://ameblo.jp/seginaoki/>

ふるさと四日市への思い

市長 本日はお忙しい中お越しいただき、ありがとうございます。また、観光大使をご快諾いただき、改めてお礼を申し上げます。今日は、四日市への思いを存分にお聞かせください。

四日市の空襲を経験

桂 私は昭和15年に西町で生まれました。空襲で焼ける前のときです。当時、私の家は酒の卸問屋をしていて、子どもの頃、よく酒樽の中に入って転がりながら遊んだ記憶がありますね。

昭和20年には四日市の空襲を経験しています。町はたくさんの焼夷弾が落とされ火の海になりました。親から防空壕に逃げろと言われていましたが、防空壕は狭いのが嫌で、別の場所に逃げたときがありました。次の日、その防空壕は空襲を受け灰になっていました。ですから防空壕にいたら死んでいたことになりました。

コンビナートの煙突と 内部線のほっこりとした思い出

瀬木 私は昭和38年生まれで大字泊村出身で、桂師匠は親の歳ぐらいになります。子どもの頃は、赤白の煙突の煙の流れを見て風の向きや自然を感じたりしていました。私の中では、四日市はコンビ

ナートと鈴鹿山脈をはじめとした大自然が調和しているという印象でした。

内部線について中学生のときの思い出なんですが、線路上に野良犬が歩いていたら、犬をひかないようにその犬の歩くスピードに合わせて電車が進んでいたことを思い出しますね。(笑)ほっこりとした思い出です。廃線になるという話が出ていると聞き、寂しいですね。

市長 思い出の詰まった鉄道なんですね。何とか鉄道として残したいと、今、協議を進めているところなんです。



近鉄内部
八王子線

18歳まで四日市にいて その後お笑いの世界へ

加藤 私は昭和49年に本町で生まれ、実家は本屋をやっていました。18歳まで四日市にいて、その後、お笑いの世界に飛び込みました。

学生時代には、当時「ヤンキー」と呼ばれた生徒に脅された経験がありまして(その筋肉で脅された方なのですか…という周囲の声)正直、四日市には怖いイメージがあり、トラウマのようなものがありました。でも、素晴らしいまちなので、これからはなるべく四日市に帰るようになります。

加藤さんの生家跡の
表示板(本町)



全国に向けて四日市をPR

市長 私は、四日市の魅力を全国に伝えるため、皆さんの強い情報発信力に期待しています。どのようにPRしていただけますか。

工場夜景は評判です

桂 工場夜景は大阪でも評判です。昔は工場夜景は公害を連想させ、いいイメージではなかったのですが、今や工場夜景は美観に変わってきています。

昨日、あるセレモニーで著名な落語家や漫才師と会って、「明日、四日市の観光大使として市長と話をしてくる」と言ったとき、まず言われたのは四日市公害のことです。そのとき、彼らに今はナイトクルーズが評判なんやという話をしたら、今度一緒に行こうと盛り上がりました。

僕なりに宣伝します

加藤 えっと…あの…これ何しゃべるんでしたっけ?(笑)四日市への熱い思いをしゃべるんですね。僕なんかには何かできることがあるかなと思いますが、今日、皆さんとお会いしてコンビナートの夜景について、がっつりと知ることができたので僕なりに宣伝できたらと思います。

四日市の日本一

市長 四日市には、コンビナート夜景の他にも魅力はたくさんあります。大入道は、日本一大きなからくり人形です。また、萬古焼の土鍋の生産量も日本一で、国産の国内シェア8割を占めていますし、かぶせ茶の生産量も日本一です。かぶせ茶は摘み取る前の一定期間、黒いシートで日光を遮断して、味にまろやかさを出します。おいしいんですよ。

加藤 大入道は怖くてインパクトありますよね。(笑)お茶は静岡だけじゃないんですね。すごい!

大入道



四日市萬古焼の土鍋

かぶせ茶用に黒いシートをかぶせた茶畑

落語で四日市の情景を入れた人情話をしたい

桂 小・中学校の同級生の仲間たちで集まって、昔話で盛り上がることもあります。

やっぱり故郷である四日市には、人情が染み付いています。その人情味を、ここ四日市から発信して浸透させないといけないと思い、毎年文化会館で行っている落語でも、人情話に力を入れるようになっています。

落語の中に、四日市の情景を入れることができれば、強い情報発信につながると思います。そのとき

は市長が作家になってください。(笑)

文治まつり
(平成22年10月)
写真提供:三重テレビ



ふるさとを考える活動を続けていきたい

瀬木 私は、以前に「いづれの森か青き海」という四日市を舞台にした映画を撮りました。

実は、この映画は、私自身を主人公に投影させ、四日市を捨てて東京に旅立つという内容にして、私にとっては、四日市と決別するための映画にするつもりでした。

ところが、僕の映画づくりに協力するために結成していただいた「瀬木監督を囲む会」の人たちをはじめ、四日市出身のさまざまな人との交流の中で、彼らの「ふるさと四日市」に対する熱い思いに触れて、四日市に愛着が湧き、私は、四日市と別れられない気持ちになりました。映画の内容もそのように変わってしまいました。

このような経験から、ふるさとをもう一度考えて欲しいと思い、各地域で若い人たちに向けてもそういった話をしていて、今後も続けたいと思っています。



加藤 歩

1974(昭和49)年生まれ
お笑い芸人
お笑いコンビ「ザブングル」
で、「くやしいです!」、「カッチカチやぞ!」がおなじみ。
ブログ <http://ameblo.jp/zabu-kato/>

文治まつり

「桂」と名乗る落語家は約150人いますが、その祖とされるのが初代・桂文治です。桂文治は1816年、当時、東海道の宿場町としてにぎわっていた四日市で亡くなり、墓は市内の泊山にあります。

この桂文治にちなんで桂福團治さんの発案により、毎年秋に文化会館で落語が催されていて、今年は10回目を迎えます。



2003(平成15)年に公開された、四日市を舞台にした作品。発売中のDVDでご覧になれます。

方言と永餅とギャグで 四日市をPRします

加藤 話をしていると、よく「関西弁ですか」と聞かれることが多いので、「四日市弁です」と答えて、アピールするようにします。

今はとんてきが人気ありますよね。また、三重県だと赤福のイメージがありますが、僕の中では永餅のほうがおいしいです。うわさでは、所ジョージさんが永餅を

食べて「これは日本一おいしい」と言ったとか言わなかったとか。(笑)

僕は筋肉を出して「カッチカチやぞ」というギャグがあるんですが、以前、四日市でそのギャグを四日市にちなんで「ヨッカイチカチ(四日市カチ)やぞ」とやったんですが、見事にすべってしまいました。(笑)

これに懲りず、今後、四日市推しを心掛けていきます。



市長から観光大使へ

本日は、いろいろと興味深いお話をいただき、ありがとうございました。ぜひ、ブログやお話が出ました創作落語など、皆さんのそれぞれの分野の、さまざまな場面で、四日市の魅力を情報発信してってください。そういった情報の種がまかれることにより、四日市の名前が多くの人の印象に残り、四日市に行ってみようかという気持ちにつながればと思います。

Ms.OOJAさんのふるさと四日市への思い

窓から見えるコンビナートの 明かりが印象に残っています

私は曙町で生まれ、23歳まで四日市にいました。近鉄四日市駅周辺が私のよく行っていた場所で、商店街で買い物をしたり、ご飯を食べたり、諏訪公園でもよく両親と遊びました。

家はコンビナートから近かったのですが、よく夜に、窓から見えるコンビナートの明かりをぼんやりと眺めているのが好きでした。



1000000人の
キャンドルナイト
inすわ公園(昨年12月)

地元の人たちの支えに 気付かされました

私は歌手としてメジャーデビューするまで10年以上かかりました。メジャーデ

ビューが決まって、家族や友人、地元の人たちの喜んでる姿を見たとき、デビューが決まるまで一人で苦しんでいると思っていましたが、実は周囲の人たちに支えてもらっていたことに気付かされました。

今は地元の支えはもっと広がっていて、本当に大事にしてもらっています。私も同じように地元を大事にして、音楽活動を通して恩返しをしたいと思っています。

四日市に全国から来てもらえるよう、 魅力を伝えていきたい

観光大使としては、今後はブログやライブ活動などで四日市の魅力を発信して、四日市を全国の人に知ってもらい、四日市に来てもらうよう魅力を伝えていきたいです。

この観光大使の名刺もいいですね。ぜひ、いろんな人たちに配りたいです。



Ms.OOJA

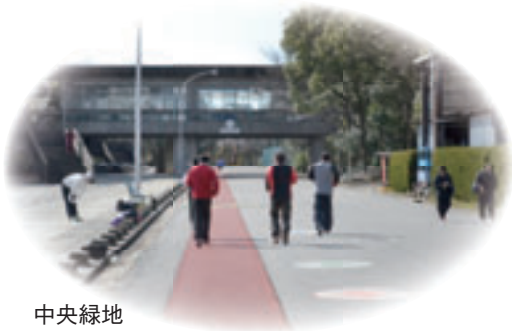
1982(昭和57)年生まれ
シンガーソングライター
17歳から歌手を志し、市内の高校を卒業後、市内の百貨店の服装店員として働きながら、名古屋のクラブシーンで活動を開始する。2011年にメジャーデビュー。
ブログ <http://ameblo.jp/msooja/>

諏訪公園

公園内のすわ公園交流館を中心に、市民が主体となって、幅広い世代が楽しめるイベントが開催されています。

中央緑地が 思い出の場所です

中央緑地が思い出の場所です。自宅から近く、小さい頃から自転車に乗る練習をしたり、父親とキャッチボールをしたりしていました。今でも、トレーニングで外周を走っています。公園の外周は整備されて走りやすくなりましたね。



中央緑地

ツアー中に 四日市のPRをします

ツアーを転戦しているプロ選手70人（シード権を持つ選手）は、サーカスの一団のように、各地で行われる大会を一緒に回っていきます。

ツアー中は、他のプロ選手と常に一緒にいますので、そこで四日市のPRをします。昨年は、ツアーに同行しているフィットネスカー(※)に四日市の永餅を置いておくと、選手の皆さんは「おいしい」と言って食べてくれました。そのとき、「四日市の名物なんですよ」と紹介したこともありました。また、友人やスポンサーの人たちが来たとき、とんてきを食べに連れて行ってます。

※フィットネスカー…選手の体調などをサポートするための車



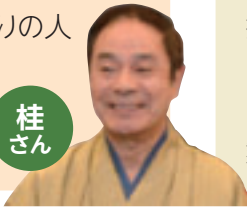
川村 昌弘

1993(平成5)年生まれ
プロゴルファー
国内三大会の第2戦、日本ツアー選手権で昨年5位に入った19歳のルーキー。父の勧めで5歳でゴルフを始め、すぐその面白さに夢中になった。平成23年の日本ジュニア選手権などで優勝。

ブログ <http://ameblo.jp/kawamura-masahiro/>

〈 観光大使から市民の皆さんへ一言 〉

私の土台を育んでもらった故郷としての四日市に大変魅力を感じています。人生のカウントダウンの歳にはなってきましたが、これからは、残りの人生を四日市の観光大使として、お世話になった人々への恩返しの意味も込めて、落語の中でがんばっていきます。



桂さん

映画を撮ることは大変なことで、一本一本人生を賭して撮っています。ふるさと四日市に貢献できることは、今後も映画を撮り続けていくことだと思っています。近い将来、また四日市を舞台に映画を撮りたいと思います。

瀬木さん



座談会では、市長や他の観光大使の皆さんから、私の気付かなかった四日市の魅力をたくさん知ることができました。観光大使になったことを機に、改めてもっと四日市の良さを考え、自分に何ができるのか、僕なりの四日市の情報発信について考えていきたいです。



加藤さん

私は、長く愛され、メッセージが発信できる歌手になれるよう、地元の皆さんの応援を支えにがんばっていきます。いつかは、四日市で音楽フェスティバルを開催し、市民の皆さんに、生の音楽を楽しんでもらえる機会をつくりたいと思っています。



Ms.OOJAさん

まだまだ四日市の魅力が分かっていませんので、探していきたいです。現在、プロゴルフのツアーに参戦している四日市出身の選手は、私一人です。四日市代表としてがんばりますので、皆さん、応援よろしくをお願いします。



川村さん

取材を終えて

観光大使の皆さんは、ふるさと四日市を大事にいただいている人たちでした。全国から「四日市に行ってみよう」という人が増えれば、市民として嬉しいですね。観光大使の活躍が、四日市の全国へのPRにつながります。皆さん、四日市市観光大使を応援しましょう。(観光推進室 服田、広報広聴課 三谷)

市政への「満足度」と

市では、行政上の課題や市民生活上の問題点について、市民の皆さんの声をお聴きし、市政に反映していくために、昭和48年度から毎年、市政アンケートを実施しています。今回も、道路整備・高齢者福祉・学校教育など市政各分野の満足度・期待を中心に お聴きし、多くの皆さんから回答をいただきました。本年度の結果のあらましとともに、「市民から求められている施策」の現状をお伝えします。

アンケートの概要

- 対象** 市内に在住する20歳以上の5,000人(無作為抽出)
- 実施期日** 平成24年8月20日～9月7日
- 回答数** 2,036人
(有効回答率：40.7%)

アンケートでは、「都市と環境が調和するまち」「いきいきと働ける集いと交流のあるまち」など6分野に分類した50施策についてそれぞれ「満足度」と「期待」をお聴きしました。今回は、昨年までのアンケート結果において、市民満足度が高かった「安全な水道水の安定供給」や「市立四日市病院の充実」などの施策を設問項目から外して設問項目を絞り込み、満足度の低い施策に焦点をあてて調査しました。

アンケートの結果

満足度が 高い施策	1位	ごみ減量・リサイクルの推進
	2位	検診・健康情報の発信
	3位	市内の緑を守り育てるための制度の充実
満足度が 低い施策	1位	自転車走行レーンの整備
	2位	移動しやすい道路網の整備
	3位	生活道路の整備
期待が 大きい施策	1位	災害に強いまちづくり
	2位	移動しやすい道路網の整備
	3位	介護保険施設サービスの充実

市民から求められる「道路への取り組み」

誰もが安全・快適に移動できる道路を目指して

アンケートでは自由に意見を書きいただける欄を設けました。そこでも、身近な道路の改修・維持管理



立体交差で渋滞解消(末永町)

(26件)、渋滞対策(24件)、歩道や自転車レーンの整備(24件)など、道路に関して多くのご意見をいただきました。これは、少子高齢化などの社会変化が進む中、車の視点だけではなく、歩行者や自転車も安全に移動できる道路整備が求められているものと受け止めています。

市では快適な市民生活や産業活動を支えるため、幹線道路の整備とともに、事業所税などを活用して道路の再舗装をするなど適切な維持管理にも努めています。

「期待」を伺いました



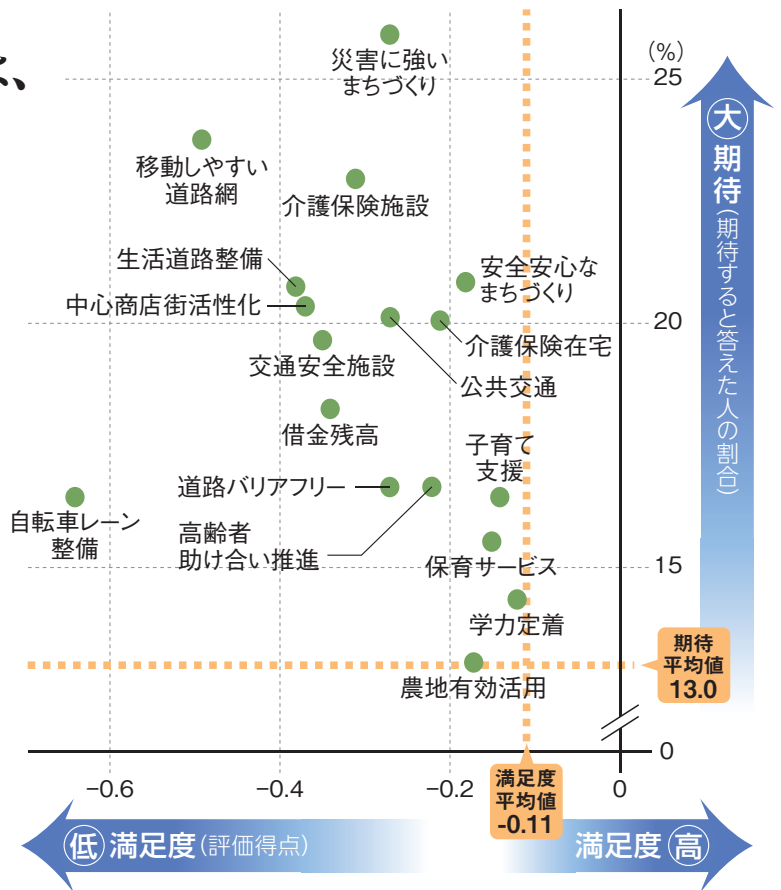
特に求められている施策

満足度が低く、期待が大きいのは、「道路」、「子育て」、「高齢者」施策など

満足度が低く、期待が大きい施策が、生活者としての視点から市民の皆さんに特に求められている取り組みといえます。今回のアンケートでは、17項目となりました。

このうち、道路に関する取り組みが5項目、教育・子育てが3項目、高齢者施策が3項目あり、そのほかには「災害に強いまちづくり」「中心商店街活性化」「公共交通の便利さ」「市の借金残高の削減」などの項目が特に求められている施策として挙げられました。

■市民から特に求められている施策



側溝にふたを掛け歩行者空間を確保 (下之宮町)

ワーク計画づくりを進め、高い効果が期待される箇所から、自転車道の整備を進めています。

生活道路の整備についても毎年、多くの要望を受けしており、すべての要望にお答えすることは難しい状況

ます。また、狭い道路で側溝にふたをして誰もが安全に歩ける空間の確保や、自転車走行空間のネット

です。このため、道路に関わる要望については、各地区で結成された自主選定組織で地域ニーズの高い要望箇所を中心に優先順位を決めていただき、順次整備を進めています。

市では引き続き、誰もが安全・安心で快適に移動できる道路整備を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。



落橋防止装置を取り付け耐震化 (馳出町)